

女子70kg級

準決勝戦第1試合

3 今井 優子[⊖]
(了徳寺学園)

優勢勝

2 上野 巴恵
(三井住友海上火災保険)

左右のケンカ組手の両者、互いに技のポイントは奪えなかったが、上野は、上背で劣る今井に右釣手で奥襟を制せられ、右内股の連続攻撃を受けて防御に回り、3分3秒、3分44秒、指導が与えられる。その後、期待の上野は左体落、左内股で反撃を試みるが、今井を崩せずそのまま時間。三連覇を目指す今井が堂々、決勝戦へ。

準決勝戦第2試合

2 長瀬 めぐみ
(ぎふ柔道クラブ24)

優勢勝

⊖ 3 川上 由貴
(フォーリーフジャパン)

長瀬、右組み、川上、左組みのケンカ組手。試合開始直後から、長瀬は、内股・背負投げ、川上が、体落し・大内刈と、互いに技を出し合う。長瀬に技が出なくなったところで、2分37秒、長瀬に対して指導1。その後も川上が積極的に攻め続け、3分13秒、川上は小外刈で有効を取る。その後も川上は手を緩めることなく優勢に攻め、時間切れとなる。

決勝戦

3 今井 優子
(了徳寺学園)

大腰

3 川上 由貴
(フォーリーフジャパン)

今井、右組み、川上左組みのケンカ組手。川上が開始早々の12秒、体落から内股に移行して今井を転がして技あり。今井は挽回を期して内股、体落、大腰、背負投など多彩な技で果敢に攻める。川上が防戦になったところで、1分55秒に指導1。猶も攻撃を休めない今井に押され、川上は2分26秒に指導2。ここから川上が攻撃を再開。4分11秒、今度は今井に指導1が与えられる。その後も手に汗握る攻防が続く。しかし、終盤の4分19秒、今井が右釣手を川上の首に巻き付け、腰を大きく入れ、大腰の大技に出ると、これが見事に決まり、川上は大きく弧を描いて畳に落下。今井が堂々の三連覇を飾る。